

講義名称	発達心理学Ⅰ
開講責任部署	大学
講義区分	講義
基準単位数	2.0
科目群（区分）	専門展開
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	2年前期
必修・選択	選択
卒業認定・学位授与の方針との関連	社会福祉学科（3）、子ども福祉学科（3）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学人間社会科学部社会福祉学科	14202011
金城大学人間社会科学部子ども教育保育学科	24204412

担当教員

氏名	所属
◎ 奥田 裕紀	大学・人間社会科学部・社会福祉学科

授業概要	障害のあるこどもを含む幼児、児童の心身の発達および学習の過程を学習する。また、幼児教育、保育の実践にかかわる心理学の知識を学習し、発達にかかわる心理学の基礎を学び、こどもへの理解を深め、こどもが他者との相互的にかかわりを通して発達していくことを具体的に理解する。生涯発達の観点から発達のプロセスや初期経験の重要性について理解し、幼児教育・保育との関連を考える。個人と環境との相互作用により発達過程が影響されることを理解し、代表的な発達理論に基づいて、生涯に渡る発達過程と発達過程を規定する要因について理解を深める。
到達目標	授業概要で示した内容について理解・考察し、説明できることを目標とします。

授業計画表

授業計画表		
第1回	【授業計画】	
	こどもの発達を理解することの意義、教育・保育の評価と心理学との関連	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	大学図書館などで、関連図書を選択し、講義内容について自主学習を行うこと	90
第2回	【授業計画】	
	発達とは、こどもとは	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと	90
第3回	【授業計画】	
	発達に関する研究の方法	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと	90
第4回	【授業計画】	
	発達と環境	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと	90

第5回	【授業計画】	
	身体的機能、運動機能の発達	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと	90
第6回	【授業計画】	
	知覚と認知の発達	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと	90
第7回	【授業計画】	
	言葉と社会性の発達	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと	90
第8回	【授業計画】	
	感情の発達と自我	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと	90
第9回	【授業計画】	
	愛着、基本的信頼感の獲得	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと	90
第10回	【授業計画】	
	他者とのかかわり、社会的相互作用の基礎	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと	90
第11回	【授業計画】	
	生涯発達と初期経験、発達援助	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと	90
第12回	【授業計画】	
	胎児期及び新生児期の発達	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと	90
第13回	【授業計画】	
	乳幼児期の発達	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと	90
第14回	【授業計画】	
	児童期から高齢期の発達	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと	90

第15回	【授業計画】	
	まとめ	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	学習内容について振り返り、まとめておく	120

履修に必要な予備知識や技能	大学図書館などで、発達心理学に関する図書を選択し読んでおくこと。
課題に対してのフィードバック	授業内で行った課題については、可能な限り当該授業、次回授業などで解説します。
評価方法・基準	講義への取り組みの状況（20％）、定期試験（80％）等に基づいて総合的に評価します。
教科書	教科書：中道圭人・小川翔大編、（2021）、「教育職・心理職のための発達心理学」、ナカニシヤ出版 参考書：「中学校学習指導要領」文部科学省、「高等学校学習指導要領」文部科学省、「中学校学習指導要領解説 社会編」文部科学省、「高等学校学習指導要領解説 公民編、福祉編」文部科学省
備考	本科目は、教職課程などに関連する科目であるため、シラバスの基本的な内容を維持します。必要に応じて、Google Classroomやyoutubeなどを用いることがあります。講義内容に関連した課題、テーマなどについて、考察・意見交換・発表などを行います。
実務経験の内容・期間	医療領域（精神科、約4年）、教育領域（スクールカウンセラー・学生相談室、約16年）。臨床心理士・公認心理師。